

日 程 表

日数	月 日	都 市 名	現地時間	交通機関	摘要(主な調査テーマ)
1	2024年 7月7日 (日)	成田 発 ウランバートル 着 (時差-1時間)	14:40 19:15	OM-502 専用バス	ミアットモンゴル航空にてウランバートルへ 【所要時間: 5時間35分】 専用バスにてホテルへ【所要時間75分】 (ウランバートル泊)
2	7月8日 (月)	ウランバートル		専用バス	<ul style="list-style-type: none"> ●JICA モンゴル事務所訪問 (経済成長、主要産業) (エネルギー政策や再生可能エネルギーの利用) (首都の都市開発や都市化の進行) ●UniGas 訪問 (エネルギー事情) (事業内容と持続可能なビジネスモデル) ●新モンゴル日馬富士学園表敬訪問 (教育制度や教育の質) 元横綱 日馬富士らが創設、日本式教育を旨とする学校。 (ウランバートル泊)
3	7月9日 (火)	ウランバートル ↓(80km) テレルジ ↓ ウランバートル		専用バス	<p>テレルジへ移動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国立公園テレルジ視察 (自然保護区や環境保護政策) 大きく聳え立つ亀岩やオボーを見学し、放牧民のゲルを訪問(乳製品の試食) *希望者は乗馬体験(有料) <p>ウランバートルへ移動 日本人墓地(モンゴルで抑留された日本人墓地)、ガンダン寺(チベット仏教寺院)見学 (ウランバートル泊)</p>
4	7月10日 (水)	ウランバートル ↓(130km) バガノール ↓ ウランバートル		専用バス	<p>専用バスにて、バガノール県へ 【所要時間: 2時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●バガノール鉱山(石炭)訪問 (豊富な鉱物資源の開発と利用) 1978年設立、年間生産量約400万トン 100年以上の採掘が可能、モンゴル国発電燃料の60%を供給 ●サルキット風力発電所(中央県セルゲレン村) (エネルギー政策や再生可能エネルギーの利用) ●家庭用太陽光発電システム現場視察 (エネルギー政策や再生可能エネルギーの利用) (ウランバートル泊)
5	7月11日 (木)	ウランバートル		専用バス	<ul style="list-style-type: none"> ●モンゴルの夏の祭典「ナーダム祭」開会式視察 ●GOBI(ゴビ)カシミヤ工場視察、 旧国营ノミンデパートにてショッピング (ウランバートル泊)
6	7月12日 (金)	ウランバートル 発着 成田 (時差+1時間)	07:45 13:40	専用バス OM-501	専用バスにて空港へ 日本航空にて帰国の途へ 【所要時間: 4時間55分】

この日程表は作成当日の最新の資料に基づいていますが、将来、運輸機関の運行スケジュールの改訂、その他の理由により予告なしに変更される場合がございます。